20301 現代社会_4_301 一斉_消費者問題

（学年）第２学年，（教科・科目）公民・現代社会　　一斉学習

（単元）消費者問題

（本時のねらい）

平成 28 年 6 月の選挙権年齢の引き下げや令和 4 年 4 月に実施される成年年齢の引き下げになどに伴い，法的なものの考え方を養う教育の必要性は高まっている。特に，成年年齢の引き下げに関しては，実践的な消費者教育の実施が喫緊の課題となっている。契約や消費者保護の前提となる私法の基本的な考え方を学ぶ必要不可欠な単元である。現在の高校 2 年生は，高校 3 年生の 18 歳の誕生日を迎えた日より「成年」としてさまざまな権利や義務が生じるようになる。未成年と成年との違いを自覚し，自立した賢い消費者として豊かに生活していくための知識や態度を身に付けさせたい。

（ICT 活用方法）

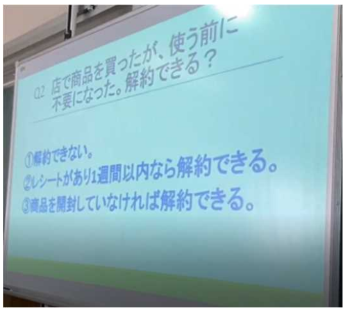
電子黒板とプレゼンテーションソフトを活用し授業を進める。生徒は各自，ワークシートに語句や考えを記述する。ICT を活用することで，契約に関する具体的な事例を提示したり，生徒の意見を拾い出せる時間を捻出できたりする。また，授業のまとめに，動画サイトで消費者と契約に関する動画視聴する。

（本時の展開）

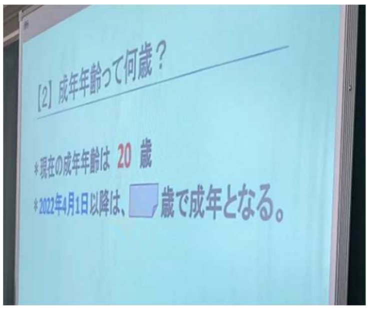
時間	学習活動	指導事項	ICT 活用方法
導入 ５分	・近年，若者の消費者トラブルが急増していることを知る。 ・本時の目標を理解する。		
展開 ３５分	・契約クイズに答える。 ・契約に関する基本的な知識を理解する。 ・「未成年者取り消し」について理解する。 ・「消費者トラブルに巻き込まれやすい人」について考察する。	・成年年齢の引き下げについても併せて説明をする。 ・成年を迎えた高校 3 年生が巻き込まれる可能性がある事例を紹介する。	・電子黒板を活用して，契約クイズをする。 ・電子黒板を活用して，ワークシートを完成させ，自分の意見をまとめる。

	・契約の取り消しや消費生活センターについて理解する。		
まとめ １０分	・本時のまとめとして，動画を視聴する。	・単に保護される主体ではなく，自立した消費者として生活していくことの大切さを伝える。	・動画サイトで消費者と契約に関する動画視聴する。

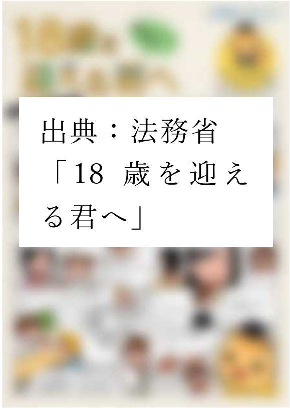
（授業の様子）



契約クイズ



契約と成年年齢に関するスライド



使用したリーフレット

（生徒の反応と課題，改善を要する点）

契約に関する基本的な知識を学び，様々な消費者トラブルに関する事例を聞く中で，賢い消費者としての意識を高めることができた。学習のまとめに，動画で授業内容を振り返ることができ知識の定着につながると感じた。今後も，生徒の実態を把握し，単元や目的に応じて ICT を活用していきたい。